

アーバンデータチャレンジ2021

和歌山ローカルナレッジ

《様々な活動主体による地域情報化》

地域を知り、共有すれば、心が動く。

上仲 輝幸

株式会社 紀伊民報 マルチメディア事業部

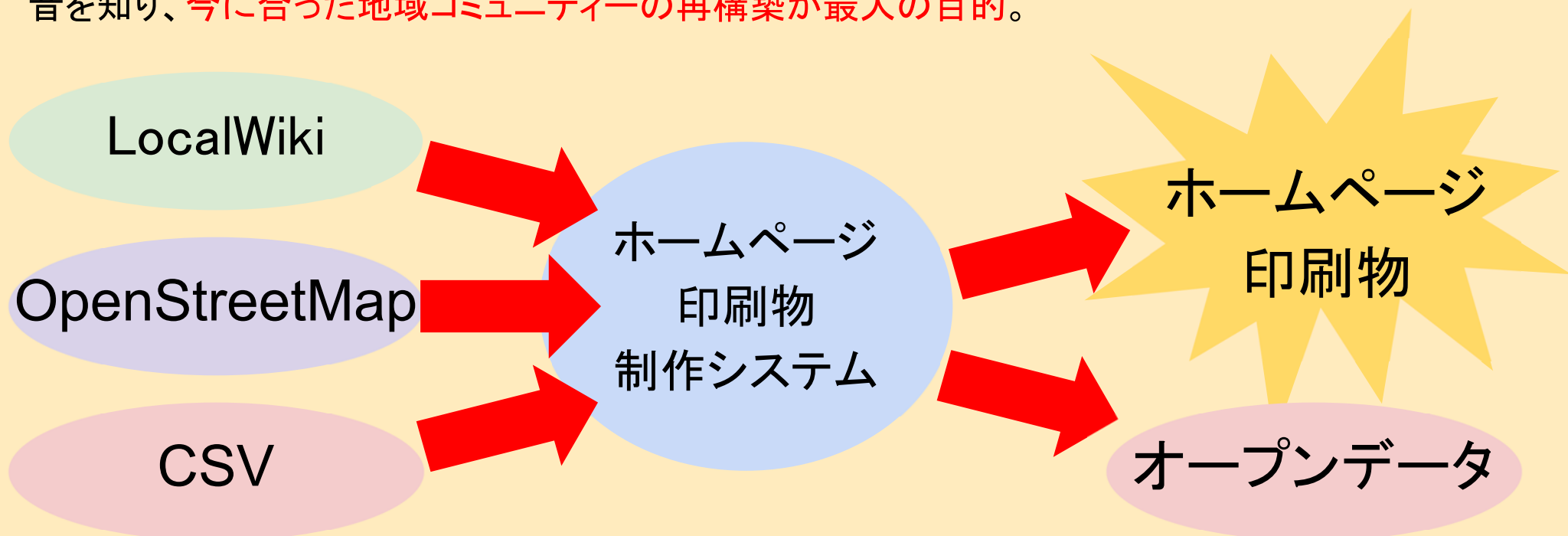
〒646-8660 和歌山県田辺市秋津町100

TEL.0739-26-7171 FAX.0739-81-7181

e-mail:t-kmnk@agara.co.jp

和歌山ローカルナレッジとは

- オープンデータやデータベースを活用した地域学習とデータ作成、和歌山大学がきっかけで広がったLocalWikiやOSMを活用した、マッピングパーティーやシビックテックの活動。
- 自治体や学校、さまざまな組織や企業、住民などが連携して、地域の歴史や文化、地理、産業、観光資源などを集約し、共有財産とする。
- 紀伊民報のホームページ更新システム「eメイド」を通して、WEBサイトや印刷物で見える化。ソーシャルメディアなどを活用し、情報流通の促進をする。
- さまざまな立場や多世代との交流活動を通じて、情報を共有し、地域課題の解決に取り組み、昔を知り、今に合った地域コミュニティの再構築が最大の目的。



ホームページ更新システム「eメイド」

- eメイドは、ホームページや印刷物を制作する紀伊民報のシステム。
- さまざまAPIのサービスや、CSVからもインプットとアウトプットが可能。

和歌山ローカルナレッジでは、下記を活用して、情報流通の促進を図る

- LocalWikiからAPIで情報を取得し、WEBサイトや印刷物を生成する仕組み
- CSVデータから、WEBサイトを生成する仕組み
- 位置情報や観光スポットなどを投稿し、CSV出力できる情報共有システム「Kiiminpo OpenData Project」の活用。

CC BYライセンス
(二次利用、再配布が自由)



WEBサイト



印刷物(PDF)

アーバンデータチャレンジ2021の活動紹介

- AEDシートとAED設置場所のオープンデータ化
【和歌山県立熊野高等学校 Kumanoサポーターズリーダー部】
- 上富田応援プロジェクト2021
【和歌山県立熊野高等学校 選択科目：社会文化研究】
- 「うめえ～スイーツあつめました」オープンデータ化
【和歌山県立神島高等学校 授業：課題研究】
- 子育て環境の調査と遊び場のオープンデータ化
【和歌山県立串本古座高等学校 CGS部】

リンク集：<http://wlk.civic.style/udc2021/>

子育て環境の調査と遊び場のオープンデータ化

【活動内容】

串本古座高校CGS(地域包括的支援)部は、串本町内の子育て環境を調査している。町内には子どもが遊べる場所が少ないため、公園の調査し、トイレや駐車場などの有無を調べてオープンデータで公開した。また、WEBサイトで情報発信するとともに、模造紙にまとめて町内の子育て支援室の壁に掲示する予定。

フィールドワークなどで集約した情報をオープンデータとして公開したり、LocalWikiやOSMにあるデータをWEBサイトや印刷物に出力できる紀伊民報のシステムを使ってUDCの提出作品とする。

【目的】

地域の魅力と課題を知り、その課題解決や地域活性化のために考えて行動する人材、地域の良さを発信できる人材となることを目的。



子育て環境の調査と遊び場のオープンデータ化

【開催日時・場所】

2021/12/20・22・23

和歌山県立串本古座高等学校
串本町内

【主催・共催・後援】

主催：串本古座高校CGS部

協力：NPO法人 南紀こどもステーション
UDC和歌山実行委員会

【参加者数】

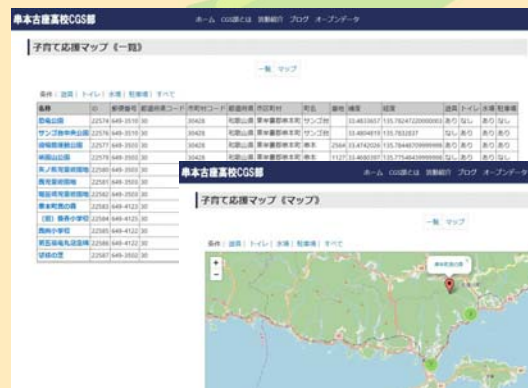
13名：生徒7名、先生4名

南紀こどもステーション1名

新聞社1名

【ホームページ】

<https://kushimotokoza-cgs.kiiminpo.jp/kosodate/>



目的は違っても、共通の取り組み

地域活性化という共通の目的があっても、それぞれの状況や立場によって、
目的は異なる。



**LocalWikiやOpenStreetMap、さまざまな情報を、
誰もが利活用できる利用規約を適用し情報公開することで
それぞれの目的を達成**

和歌山ローカルナレッジが考えるシビックテック

- 人と情報をつなぐ
- 情報と情報をつなぐ
- 人と人をつなぐ

情報を共有すれば、心が動く

和歌山ローカルナレッジが考えるシビックテックは、
技術の前に「**つなぐ**」がスタートライン。